

1

説明文の出典は辻信一『ゆっくりでいいんだよ』（ちくまプリマー新書、2006）です。不便さの中に楽しさがあるアウトドアを軸にして、便利さを追求することの陥穽を説いた文章です。

問1

1頁上段5行目傍線（1）「ありきたり」の意味を問う問題です。イの「ありふれている」が正解です。

問2

1頁上段7行目傍線（2）「カナダ有数の都市バンクーバーは、他の大都会にはない不思議な魅力を持つ街だ。」とある、バンクーバーの人々と日本の都会の人々の違いを問う問題です。8行目からの段落に、バンクーバーの人々が自然の中に出かけて楽しむのに対して、日本の都会の人々は都会の中で楽しむ習慣がある、と書かれていますので、それをまとめます。なお、以下も同様ですが、記述問題では、制限字数の8割以上書く必要があります。

問3

1頁上段17行目傍線（3）「日本でも「アウトドア」ということばが定着し、アウトドアの遊びを楽しんだり、アウトドアジーな暮らしのスタイルを求める人々の数は増えつつけている。」の理由を問う問題です。1頁上段20行目から31行目に、自然の中での遊びが失われたということ、それを取り戻すためにアウトドアに出かけるということ、が書かれていますので、ウが正解です。

問4

1頁下段32行目および36行目にある4にあてはまる、三字のことばを文中からさがす問題です。二つの4の間の34行目に「不便と楽しさが裏と表のようにピッタリとくっついている。」とありますので、アウトドアは「楽しい不便」ということができますので、正解は「楽しい」です。

問5

1頁下段57行目傍線（5）「便利教という宗教のこわさ」を説明する問題です。58行目から64行目にかけて、公害、環境破壊を引き起こすこと、私たち自身の能力を低下させること、健康に害を与えること、生きる楽しみをとりあげること、が書かれていますので、これをまとめます。

問6

《ああ、なんという便利な世の中だろう！》が入る文中の箇所を答える問題です。これは世の中の便利さを述べた後にあるべき文ですので、《う》が正解です。

問7

漢字の書き取り問題は、楷書で丁寧に書く必要があります。

問8

本文の内容に合うものを答える問題です。イは後半の「アウトドアは、環境保護の面を持ち」が本文の内容に反しています。ウは後半の「子どもころのすなおな心」が本文で述べられていないことで、エは後半の「カナダで生まれたアウトドア」が本文で述べられていないことです。従ってアが正解です。

2

物語文の出典は、井上靖『北の海』（新潮文庫、2003）です。出題範囲には、洪作少年と「くめさん」という老人との会話が中心に描かれています。

問1

4頁上段14行目傍線（1）「山の上の遊園地には異変が起きた。」を「遊園地」が何かを明示しつつ説明する問題です。「遊園地」とは8行目に「墓地は墓地というより、遊園地といった方がぴったりする。」とあるよう

に「墓地」を指しています。そして、17 行目に「西平のおじい came ぞ」とあり、その後、遊んでいた子供たちが逃げ出す記述がありますので、以上のことをまとめます。

問 2

4 頁下段 34 行目傍線 (2) 「争われねえもんだな。」はどのようなことについて言ったことばかを説明する問題です。この箇所続きに「おふくろさんの七重さんにそっくりだ。よくまあ、これほど似たと思うほど似ている。」とありますので、洪作が母親に似ていることについて言ったことがわかります。

問 3

4 頁下段 41 行目傍線 (3) 「婆ちゃも、さぞ悦んでいることずら。」などの方言が果たす効果について問う問題です。方言とは地域的なことばであり、リアルな感じを与える効果がありますので、イが正解です。

問 4

5 頁上段 91 行目傍線 (4) 「日蔭にはいれば涼しいし、昼寝もできる」の説明として最もふさわしいものを選ぶ問題です。くめさんは 88 行目「わしは夏の顔だ。年中暇なしで、こうして働いている。毎日汗ばかし拭いて生きている。いっこうに芽はでねえ。…文句は言わねえ。」と語っており、彼の今までの人生が働きづめであることを「夏の顔」と表現していること、そしてそれを境遇として受け入れていることがわかります。そういう境遇の中、自分の工夫によって安らぎを見出していることを「日蔭」「昼寝」と表現していると考えられますので、イが正解です。

問 5

5 頁上段 94 行目「わが身の苦勞が苦勞にならねえ。」とくめさんが考えた理由を問う問題です。これは文脈上、洪作のことを言っています。くめさんは洪作をどのように考えているかは、74 行目「あんたはのびのびしている。のびのびし過ぎるくらいのはのびのびしている。屈託がない。」と述べられていますので、ここをまとめます。

問 6

5 頁下段 103 行目「節をつけて、子供たちは洪作を呼んでいる。」とあるように、子供たちに慕われる洪作の性格が示されている一文をさがす問題です。洪作の子供たちと関連し、かつ性格とかがわかる箇所は、4 頁上段 12 行目「子供たちがあまり楽しそうに遊び惚けているので、それを打ちきることが躊躇された。」というところですので、この文の最初の「洪作はおぬ」が答えです。

問 7

6 頁下段 108 行目傍線 (7) 「切る」を用いた慣用句の意味を問う問題です。一はア、二はオ、三はエ、四はイ、五はウとなります。

問 8

本文の内容に合致するものを選ぶ問題です。アは後半の「老人の生き方が自分の運命を受け入れることにあると言われて少し共感がうすれた。」が誤り。イは後半の「容易に反論できないものであることを思い知らされて」とある箇所が、本文 5 頁 95 行目「くめさんの見方には誤りがあると思った。」に反しています。ウは最初の「洪作」は、自分が子供たちから親しまれている理由がのびのびした性格にあることを老人から教えられて納得した。」というところが本文に合致していません。従って、エが正解です。

本日をもちまして、本校の入試は終了いたします。今日まで受験勉強に精励された受験生諸姉が実力を遺憾なく発揮され、無事に受験を終えられますことを、私ども教職員・在校生一同、切に願っております。また、これまでお子様を温かく見守ってこられた保護者の方々やご指導にあられた塾の先生方のご胸中也察するに余りあります。僭窃ではございますが、本当にお疲れ様でございましたと申し上げたいと存じます。

これで国語の問題解説を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。